

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】① 児童に学びを委ねつつ、教科の深まりを担保するためのルーブリックの活用

沖縄県の気候に合った 農業の工夫を説明しよう

S A+複数の農作物の工夫を比較し、共通点を説明できる

A 気候と関係づけて工夫を説明できる

① 本時の導入で示す課題とルーブリック



② 自分で情報を集め、整理・分析する

【まとめ・振り返り】

まとめ：沖縄県は、日差しに強く、気温や湿度の高い気候、暖かい気候なので、サトウキビ、パイナップル、菊などの暖かいところを好むとするものに適している。そして、サトウキビは、スプリンクラーを設置し、茎を重ねるなどして、台風などの自然災害に耐える工夫をしている。パイナップルは、大変な思いと、苦勞、工夫を重ねて、沢山の人が美味しいと言われている。菊は、普通の地域では出荷時期は11月から5月だが、沖縄県では、12月から3月に出荷するという抑制栽培をしていて、電灯を使っては長さくじきを調整するので、電照菊と呼ばれたりしていることがわかった。共通点を考えると、沖縄では暖かい気候にあった作物が育てられていることと、台風や暑さに負けないような工夫がされていることがわかった。

振り返り：「沖縄県の気候と農業をフィグジャムを使って繋げるために、教科書と、資料集、動画の隅々まで読む」という目当てを達成することができた。また、意味の分からない、言葉は、先生が教えてくれたインターネットの情報を元に、意味がわかった。だから、次は、「進んで、わからない言葉を調べ、フリーハンドを使ったり、今回と同じように、教科書、資料集、動画の隅々まで見る。」がめあてにしようと思う。

③ 課題とルーブリックに正対した振り返りを書く（本時の最後3分間）

児童に学びを委ねつつ、教科の深まりを担保するためにルーブリックの活用を重視している。Aは「全員に必ず達成させたい水準」、Sは「Aを達成した児童が次に進む方向性を示す指針」としている。また、課題やルーブリックには、本時で働かせたい見方・考え方が反映させるようにしている。学習中及び振り返りを書く際に児童に適宜確認させている。